オステオパシーアプローチ

胚のバイオダイナミックスフェーズV

基調講演

講師　マルク　ダモアゾー,D.O.

Par Marc Damoiseaux Ostéopathe,D.O.

教師（ベルギー・フランス・イタリア・スペイン・日本・スイス）

ベルギーECOE共同設立者

小児オステオパシーasbl共同設立者

セミナーガイド

発生学は、解剖的と動的という同時に 2 つの視点で学ぶものである。動的解剖学というものは、恒常的な動きを見る解剖学のことで機能解剖学と呼ばれる。機能解剖学では、身体全体が生命の各段階で内外の環境に対し可能な最善の応答を扱う。

生体の形成（個体発生）は、（学習者が）まず、それを実感することであり、観察し、経験し、そして自分の最も深い部分を感じ、強く感じ取ることである。

このアプローチでは、生命の最初の動きを通して人間に関する深い知識を探索的および経験的に研究する。発達には大きな 4 つの領域があり、神経感覚、心臓、消化、泌尿・生殖のレベルである。生理学の視点では、これら 4 つの領域は、機能的、構造的には相互つながっているが独立している 4 つの脳があると考えられる。それを脳・心臓・腸・泌尿・生殖軸と呼ぶことができる。

発生学の学習、より正確には同期性（発達の同時性）の学習では、この同期性の関係とリバランシングを見る。それぞれのスペースのモチリティーとそれらのモチリティー間の関係づけを学習する。

実際、それぞれの系の間に機能的相互依存の関係がある。例えば、心臓系は脳系に影響を与え、心臓系は泌尿生殖系に影響を与える。同様に上肢あるいは下肢の問題は、その元（機能的あるいは機能障害）が心臓・胸膜・腹膜領域であることがある。

発生期において、いくつかの組織は身体の色々な部位で同時に発達する。『発生期における組織の誘導性』あるいは『誘導同期性』という表現が使われる。

オステオパスは、組織発達の同時性と各系が相互依存しているという基本的な概念を使い治療の手段を強化し、オステオパシーの基本理論と人間の機能障害の理解を深める。

（発生学の）動的形態の学習と理解、つまり人間の個体発生がバイオダイナミック・オステオパシーでは、何故その学習と理解がそれほど大切であるか？

（術者が）発生期の発達の動きに似た動きをバイオダイナミックス治療で感じる。20 世紀の初頭に W.G.サザーランド(W.G. Sutherland)が記述した動きが発生学者 E.ブレッシュミット(E. Blechschmidt) が観察した組織と細胞の動きと同じに見えることは驚きである。

この学習は、次の仮定に基づいている。身体のすべての組織のモチリティーと各組織の個別のモチリティーが発生時の（組織）移動の軌跡と繋がっており、このモチリティーは、成人の組織でも存在し、感じ取ることができる。よって、次の前提を立てている。発生期の元のエネルギーが正常に構成されている人間の理想の動きを保持していて、身体のすべての組織の健康（ヘルス）に必要な基本的な性質を提供している。よって健康（ヘルス）を探すオステオパスは、各組織が位置決定をする最も重要な動きに関心を向ける。各構造について発生期の位置と、一定量のエネルギーを受けて成長したその軌跡を同定することが可能である。この成長を可能にしたエネルギーを持つ動きを、ある一定の自由度で軸、方向、境界、正確なスペースを使って決定することが可能である。

発生期の発達の元になっている力は、健康（ヘルス）を支えるために使われる再生力と同じであると言える。一言で言うと、生命の吐息は常に存在している・・・

胚のバイオダイナミックス

発達の形態ダイナミックスと発達の同期性

再生運動

発生学、解剖学、生理学、オステオパシー機能障害

オステオパシー実践における応用発生学

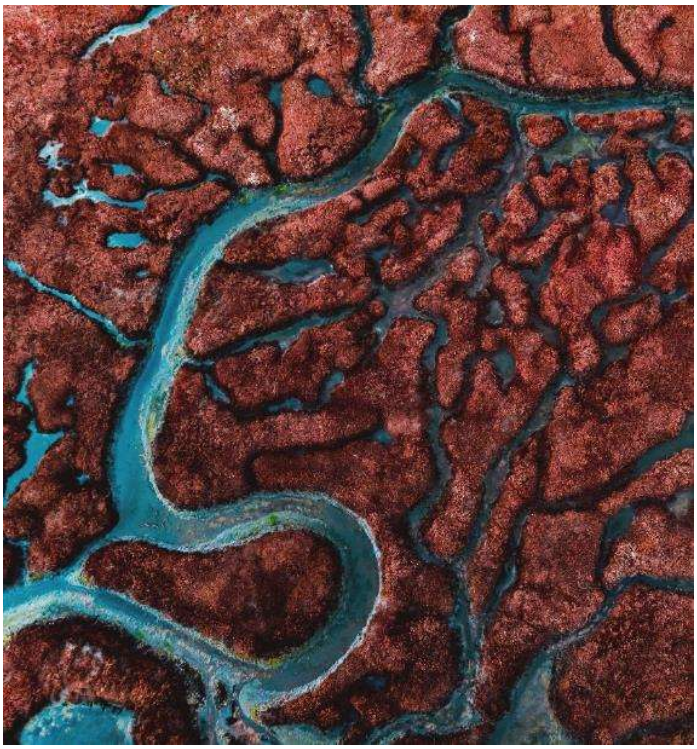
セミナープログラム

イントロダクション

- 生物システムは、環境の微妙な変化を感じ取り、反応する・・・
- 考える手を使い・・・
- 胎児の記憶で
- 全体の同期（or同時性）

ミッドラインの学習

- 腹側ミッドライン
- 背側ミッドライン
- 前側ミッドライン
- 前側ミッドラインに掛かる圧縮力
- ミッドラインの実技



細胞形成のパターン

生命の軸と生命力

発達の第 1 週

発達の第 2 週

発達の第 3 週

- 原始線条と脊索の学習
- 脊索と神経板の同期
- 脊索と原始線条から始まる中胚葉形成との同期
- 脊索と内的非対称の起源との同期
- 絨毛膜腔の実技

- 羊膜腔の実技
- 脊索 / 原始線条の実技
- 後頭骨・仙骨複合体・3番の生成の実技
- 第21日～26日の同期：長手方向の全体屈曲モチリティーの実技
- 第21日～26日の同期：横断方向の全体屈曲モチリティーの実技

口咽頭膜と排泄腔膜

臍帯 / 付着茎

神経感覚領域

- 脳液のダイナミックス。脳のホメオスタシスのための治療アプローチ
- 神経管の閉鎖（or消失）
- 神経孔の閉鎖（or消失）
- 脳の深部を感じ取る実技
- 脳の発達の変化点の触診実技
- 4つの脳と屈曲：治療への関与
- 前神経システムの屈曲フルクラム
- 中脳下（or亜中脳）屈曲と心管との同期実技
- 中脳下（or亜中脳）屈曲と肺、心臓、肝臓との同期実技
- 中脳下（or亜中脳）屈曲と下垂体原基との同期実技
- 頚椎屈曲
- 頚椎屈曲と肝臓・心臓ダイナミックスとの同期実技
- 橋屈曲の実技
- 小脳モチリティーの実技
- 橋屈曲と心臓の起立（垂直化）同期の実技
- 終脳化
- 終脳化と骨端同期の実技
- 外胚葉上昇と内胚葉下降および心臓と舌の統合の学習
- 発達ダイナミックスと(中空)内臓同期と関係がある脳の位置と脳ダイナミックスの触診実技
- 心臓の干渉性
- 脳室の拍動とポンピング

リズムの領域

- 脳 / 心臓：その発生と形態発生の干渉
- 心臓発生の場
- 心臓の発達と関係する脳の発達
- 心臓から始まり脳に向かう接続
- 心臓と横隔膜下+腸のスペースとの間におけるモチリティーと同期実技
- 第22日～42日における肺モチリティーの実技
- 肋骨モチリティーの実技
- 腹側・壁側胸膜モチリティーの実技

代謝の領域

- 顔面におけるヒダの関与
- 顔面の実技
- 横隔膜下、大網後腔、大網モチリティーの実技
- 十二指腸の実技
- 肝臓と胃の同期実技
- 結腸枠モチリティーの実技

泌尿・生殖領域

- 腎臓発達モチリティーの実技
- 腎臓系と胸骨・肋骨系の関係における発達同期の実技
- 子宮・前立腺・生殖腺の発達モチリティーの実技

四肢の領域

- 肩モチリティーの実技
- 上肢モチリティーの実技
- 下肢モチリティーの実技

同期実技のまとめ

全体のまとめ（結論）

ワークショップのコーディネーター
BIODYNAMICS ASSOCIATION JAPAN HTTP://JAPAN-BIO.BREATH-LIFE.COM/

クラスのご連絡はこちらまで
EMEAIL : BIO-JAPAN@EMAIL.PLALA.OR.JP ☎：088 - 678 - 6800

― 受講要項 ―

- **開催日時**

日程：2023年10月7日（土）～9日（月）
時間：午前9時30分～17時00分

進捗状況により開始と終了時間に変更が生じる場合があります。時間には予め余裕を持って参加してください。

- **開催場所**

会場：鳴門国際教育会館 4階C教室
場所：〒772-0011徳島県鳴門市撫養町大桑島濘岩浜61番地
TEL：088-678-6800　FAX：050-1054-4857

- **参加費**： 285,000円

お申し込み期限：2023年10月5日

定員が一杯になった際には、期限以内に関係なく締め切らせていただきます。予めご了承ください。
以下の申し込み内容をメールで送信し参加費をお振込み頂いた方から先着で30名とさせていただきます。ご入金をもって手続き完了とさせていただきます。

- **セミナー受講料のお振込先**

ゆう貯間の振込：記号 16280 番号 6793851 口座名義 ニホンバイオダイナミクスキョウカイ
他の金融機関の振込：ゆう貯銀行 店名・六二八 読み（ロクニハチ） 店番・628 普通
口座番号・0679385
口座名義 ：ニホンバイオダイナミクスキョウカイ

- **お申し込み方法**

セミナーお申し込みは、当協会のお申込みフォームからお申し込みをしてください。